

## 春日丘高等学校SGH通信 VOL 6

### 第1回春日丘高等学校SGH運営指導委員会

日時：2015年7月4日 11:20～12:30

場所：春日丘高等学校 小会議室

運営指導委員：木野瀬印刷	木野瀬吉孝様
CKD株式会社	河口 悟 様
JOCA(青年海外協力協会)	石井 範子様
名古屋市立大学人文社会学部	別所 良美様
春日井市教育委員会	堤 泰喜様
春日台特別支援学校	椎葉 林蔵様

司会進行：太田博道副校長

2015年7月4日土曜日、春日丘高等学校小会議室にて第1回SGH運営指導委員会を開催しました。初めに、二村 啓校長が本校の沿革を述べました。本年度、高等学校が開校50周年、中学校が開校25周年を迎え、SGH事業に指定されたことは大変素晴らしく思っており、今後も本校の教育の質の更なる向上に努めると挨拶しました。本校SGH運営指導委員の紹介、本校におけるSGH事業の概略、取り組み、今後の計画について説明し、質疑応答となりました。運営指導委員の方々からは様々な意見が出されました。以下に審議内容の一例をご紹介します。

(質問事項やご意見とそれに対する回答)

- ・本校の4コース全てでSGH事業の教育内容の踏襲ができますか。  
→現在、実施の方向で計画中でございます
- ・海外の高校との連携について、今後具体的にどのように連携を図っていく予定ですか。  
→東南アジアを中心に、諸外国の高校生と意見交換を行っていくことを考えております。
- ・本校の取り組みは非常に考え込まれておりしっかりしていると感じます。しかし、海外でのフィールドワーク等を考えると安全面が気になります。学校の熱い思いを保護者の方々に伝えていくことも大切であり、保護者の方々の理解を得ることが非常に大切だと思いますが、いかがお考えでしょうか。  
→今後、保護者の方々にも本校の取り組みをご理解していただくと同時に、授業等にも参加をしていただきながら本校の思いを伝えていければと思っております。
- ・調べ学習においてインターネットの情報だけに頼らず、実際に現地へ行き、情報は目で見て足で稼ぐことが大切だと思います。そういった情報でなければ説得力がない情報になってしまうと常日頃から思っています。人と人との触れ合いやコミュニケーションを通じて得た情報を是非とも発信していただきたいと思います。